

講義名	ホスピタリティ英語			授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

海外から来日する外国人の数は年々増加しており、私たちの日常生活において海外からの観光客を目にする機会も増えました。そのような状況で仕事の場を中心とした英語によるコミュニケーションの訓練を場面ごとに入門的・実践的に行います。

到達目標

- (1) 国内外の都市の観光事情に触れながら、交通案内などの場面ごとに必要な英語表現が適切に使えるようになる。
- (2) ロールプレイングによって、実践的なコミュニケーションが行えるようになる。

提出課題

- ・オンラインでの課題提出を求められます。
- ・小テスト(複数回)

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

- ・提出課題についてはチェック終了後講義内で確認します。小テストについては、解答後ただちにスコア等がオンラインで確認可能。

評価の基準

授業中の活動状況15%・小テスト25%・定期試験60%。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業には積極的に参加してください。英語の基礎力(語いおよび文法)を高めるよう努力してください。
- ・規定以上の回数を欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。

教科書	.English for Tourism 101 ーから学ぶ観光英語の基礎ー日本から世界へー、津田晶子 / クリストファー・ヴォルヴォナ / 若本弓子	南雲堂	2090	9784523177609
-----	---	-----	------	---------------

参考文献				

その他	授業中に適宜資料を配布する。
-----	----------------

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・Unit 1 2. Unit 2 3. Unit 3 4. Unit 4 5. Unit 5 6. Unit 6 7. Unit 7 8. Unit 8 9. Unit 9 10. Unit 10 11. Unit 11 12. Unit 12 13. Unit 13 14. Unit 14 15. Unit 15
------	---

授業形態(アクティブ・ラーニング)	
ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習: 各自に指定するテキストの範囲を読み、指定の練習問題を解きしておくこと(2時間程度)
- ※ 自壊範囲の単語・意味調べ(1時間程度)
- 復習: 指定の練習問題を解きしておくこと(1時間程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

場面ごとに適切なやり方で「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」ことを目指し、顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力の修得を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材配布・小テスト・期末試験の実施にはMoodleを利用する。

実務経験の有無及び活用

備考	
----	--